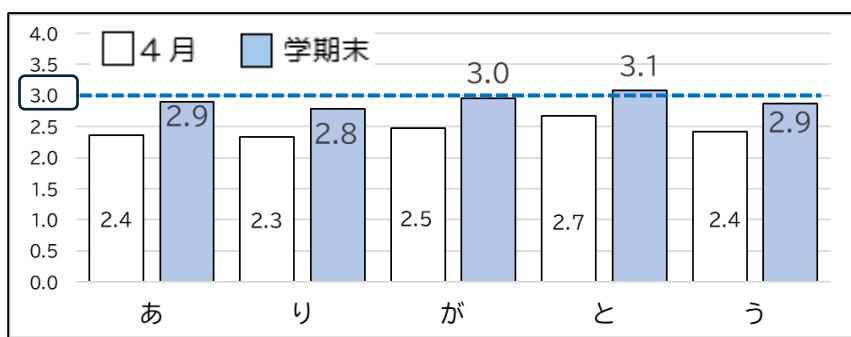




学期末の黒っ子の進捗(姿)を評価する

「ありがとうでつながる黒肥地小学校」について、学級化した目標を、担任が4月と1学期末に自己評価しました。



その結果、学期末時点でゴールとしていた3.0を上回ったのが「が 学習をつくる」と「と 友達や命を大切にする」の2項目でした。その他「あ、り、うも、0.5ポイント向上しました。

数値だけでなく実際の子どもの姿からも同様の結果が得られたと感じています。終業式でも1学期間で伸びていた事実を伝え、しっかりと認め・褒めました。2学期以降は、全ての項目で3.0を超えるとともに、各項目の数値が上昇することを楽しみにしています。

う 動く職員 夏休みの職員作業の様子から

7月22日(火)の午前中に「駐車場の白線引き」(屋外)と「倉庫の整理」(屋内)を行いました。30度を超える気温だったので万全の熱中症対策を施して実施しました。



限られた時間での作業になりましたが、beforeとafterでは、見違えるような景色になりました。

これからも、充実した教育環境が整うよう、職員も自ら動きます。

終業式の児童代表発表(6年生)の発表内容を紹介します。

ぼくの1学期の思い出は、大きく2つあります。一つ目は、小学校生活最後の運動会です。ソーラン節などのダンスやリレー、徒競走、綱引きなどたくさんの種目に出場しました。中でも一番心に残っているのは、応援合戦です。本番の三週間前から練習が始まりました。自分たちでどんな演舞をするのか決めたり、後ろでポンポンを振る他の学年のみんなの動きを考えたりと、短い時間の中で毎日がとても忙しく、大変に感じることもありました。しかし、団長を中心に意見を出し合い、厳しい練習にも負けずに毎日取り組んだことで、当日は最高の応援合戦を披露することができました。小学校最後の運動会は、一生心に残る最高の運動会になりました。二つ目は、返事やあいさつなどを頑張ったことです。一学期の途中から普段の学校生活に慣れてきて、授業中の返事が雑になっていることに気付きました。そこで、あいさつ運動やMVPを決める活動では、普段のあいさつや返事をもう一度見直してみました。そこで、できていないことに気付いて直そうと心がけることができたと思います。

2学期に頑張りたいことは、「当たり前のことを当たり前にする6年生」を続けていくことです。あいさつや返事は勿論ですが、掃除の仕方や授業中の発表など、下級生の手本になれるよう頑張りたいです。6年生から学校中に気持ちのよいあいさつや返事、学習を一生懸命に頑張る姿が広がっていくように、みなさん、一緒に頑張りましょう。

明日から夏休みです。宿題を計画的に進めます。そして、小学校最後なので友達や家族と楽しく過ごせる充実した夏休みにしようと思います。(GIさん作文)

